

## ～ドラムブレーキの点検時に関する注意事項～

リヤドラムブレーキ搭載のハイブリッド車両でブレーキの点検、整備時の注意を怠ると、ホイールシリンダのピストンが外れて、故障の原因となるため、注意事項をご案内します。

### 1.対象車両

リヤドラム搭載のハイブリッド車両

### 2.点検・整備時の注意事項

ハイブリッド車は、IGオフ後にブレーキコントロールシステムの作動チェックが行われることがあり、この際、ブレーキ油圧が自動的に加圧されるため、ドラムを外していると、ホイールシリンダのピストンが外れます。(図1)

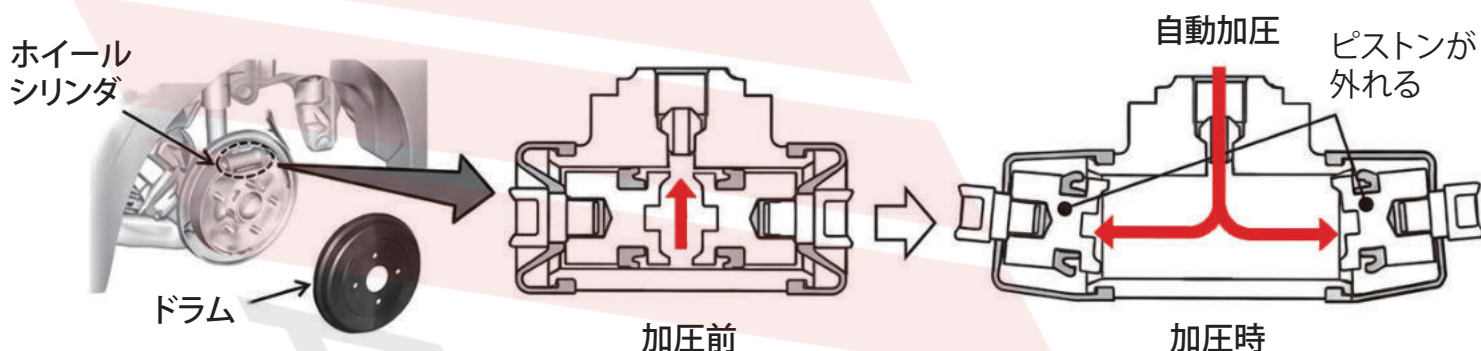


図1. 自動加圧時

ピストンが外れた後に自動加圧が終了し減圧すると、シュースプリングの反力でピストンが戻る際に、ピストンカップがシリンダのエッジにかつぐとカップが破損します。(図2)

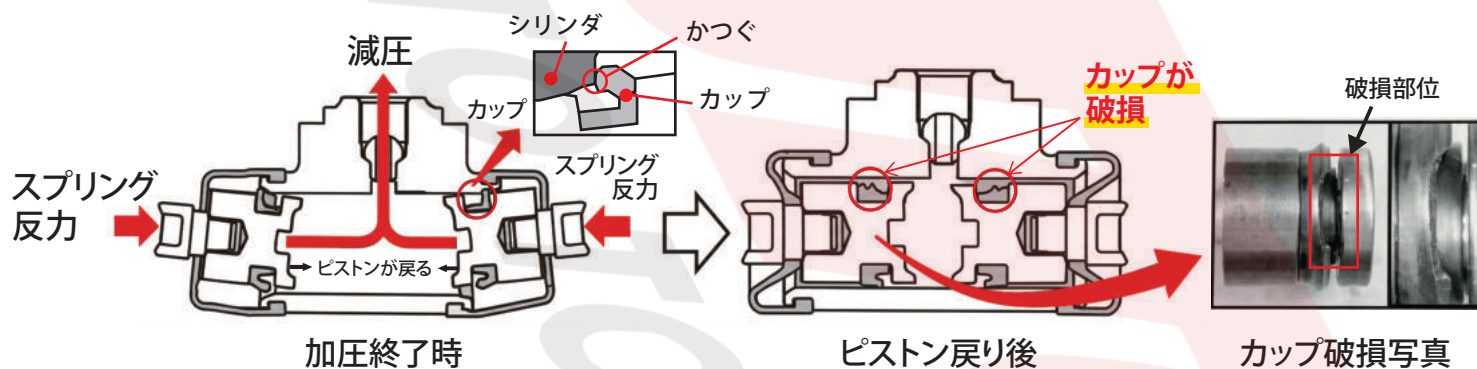


図2. 自動加圧終了後

カップが破損したまま車両を使用すると、フルードが漏れてブレーキ故障の原因となるため、ブレーキ点検・作業の際、修理書記載のブレーキ制御禁止(※)を遵守ください。

#### (※)ブレーキ制御禁止について

リヤブレーキ取り外しの修理に、以下手順のブレーキ制御禁止の作業要領が記載されています。

1. スキッドコントロールコンピュータをスリープモードにするためIGオフさせた状態で2～4分(車種で異なる)待機する。
2. リザーバレベルスイッチコネクタを切り離す。  
(上記1,2の作業が終了するまで、ドア開閉、ブレーキペダルの操作は行わない。)
3. 補機バッテリーのマイナス端子を切り離す。
4. ブレーキペダルをストロークしなくなるまで連続に踏む。(目安40回以上)